

ぬま
た

広報

public relations
Numata

【こうほう・ぬまた】

Oct2005 No.492

10

特集：我が町再生町民懇談会

沼田町公式ホームページ

<http://town.numata.hokkaido.jp>

消防ちびっ子広場消火訓練（9/3）

我が町再生町民懇談会 「町が抱える当面の 課題について」



五日間十一会場で町民の意見を聞く 各会場で活発な意見

我が町再生プランがスタートして半年が経ちました。自立の道に進む当町において、新たに出てきた当面の課題について、いち早く町民に情報提供を行うため、我が町再生町民懇談会「沼田町が抱える当面の課題について」をテーマに八月二十九日～五日間（延べ十一回）にわたって開催されました。

今後のまちづくりに重要な機会として、会場を細分化し、多くの方の意見を聞き今後の方向について検討していく場でもありました。

町では、我が町再生プランにない新たに出てきた九項目の課題について情報提供をした結果、身近な問題も含め町民からは多くの意見が出されました。

今後これらの意見を基に検討を重ねていき、方向など決定していきたい考えです。

各課題内容と町民からの意見を掲載いたします。

■西田町長

あいさつ

■我が町再生プランを掲げて自立を進めているが、将来的には難しいだろうと、広域連携を北空知の五町、あるいは深川市も含めて行う検討をしている。六月十日に北空知五町の首長会議において広域的な連携について話し合った。五町それぞれに差はあったが、七月十三日には五町の助役会議の中で、北空知広域連携自治研究会を立ち上げることとなった。

■今年の十月一日に全国一斉国勢調査が行われる。地方交付税の基礎となる数値になるので、皆様のご協力をいただいて一人でも調査漏れのないようにお願いしたい。

■町の事業について、ほたる館は昨年の収支を下回らないような経営をしている。引き続き努力をし、できるだけ一般会計からの持ち出しを減らすようにしたい。しかし、一番大きな経費のかかる重油が非常に高騰しており、負担がどうなるのかこれから心配し

ていくところである。農産加工場については、現在非常に良好な状況で運営しており、無塩のトマトジュースや有機栽培のトマトを使ったジュースなどの要望があるので、明年に向けて取り組んでいきたい。五カ山牧場については、BSEの影響でアメリカからの輸入が途絶え、非常に好調な状況にある。自動車学校については、少子化の影響により非常に厳しい運営となっている。深川の自動車学校が8月で閉鎖するという話を聞いていたが、旭川市の自動車学校が買収をして経営を続けるそうなので、また競争していかなくてはならない。赤字が大幅になるようであれば、体制の改善も含めて検討し、健全経営できるように努力をさせていきたい。

■情報提供

懇談内容

行政改革について

本町の行政改革については、町で定めた行政改革大綱



に基づき、平成八年から本格的に取り組んでいる。主な項目については、事務事業等の見直し、組織機構の見直し、定員管理及び給与の適正化の推進・行政情報化の推進と行政サービスの向上等を重点に実施してきた。本年は役場の機構改革、特に課の統廃合を含めて行政のスリム化と効率化を図るべく、役場の中に機構改革検討委員会を設置し

た。委員長に藤間助役を置き、職員十二名で組織、現在これらの課題について検討協議中である。また、これと平行して平成十八年度以降に取り組む行政改革について、行政改革推進本部を中心に検討中である。自立で町づくりを進めるので、行政改革は最重要課題として認識している。これからも住民の方には、役場の広報誌、ホームページ、懇談会等で逐一情報を提供していきたいと思う。

中心市街地域の空洞化を含めた駅前開発とシルバータウン構想について

市街地の空洞化と高齢化が進み、現在約三人に一人は六十五歳以上という時代を迎えている。今後予想される人口

の推移は、減少していく見方が一般的であり、また高齢化も進んでいくと思われる。そのため、これからの市街地形成にあたっては、コンパクトで効率性の良い、高齢者の生活にも配慮したものが必要になると思われる。厚生病院に

については築四〇年が経過し、老朽化が進み構造的にも医療の環境が低下している。このままの状態が続けば患者の数も減り、整備が整わなければ継続は難しいと厚生連に言われている。住民が今後も安心して生活していくためには、医療体制の確保は非常に重要な要素であり、今後どうしていくべきか考えている。厚生病院の建替えには経費が掛かると予想しているので、皆様方の意見を聞きながら対処について検討して行きたいと思う。こうした現状から、これからの中心市街地整備の1つとして、駅前の改修工事に併せた周辺整備を検討中である。シルバータウン構想と厚生病院の整備を関連付けながら、中心市街地の将来を検討して行きたい。

(町民) 深川市でも駅前で整備を行っていたが、利益等の効果はどうだったのか。

(町長) 沼田町の場合とは違い、深川市は道路の拡幅で商店を建替えた。沼田町の場合は数件しか引つかからないので規模が違う。

企業誘致と雪山センター構想について

平成八年にスノークールアイスファクトリーが完成し、雪中米が誕生したのを機に雪の利用が始まったが、さらに発展させるため色々な取り組みをしてきた。現存のファクトリーや老人ホームは、限られた雪を貯蔵するのに相当なコストを掛けて貯雪庫を設けているため、安いコストで利用できる方法を考えたのが雪山センターである。平成十二年以降色々な調査や検討、実験を進め、最終局面に入っている。今年は雪山センターの予定地として考えている五カ山の用地に高低差があるため、国の支援をいただき、土砂を搬入し平らにする作業を始めることになっている。今後は、早期着工に向けた取り組みを行い、整備に掛かる財源の確保のため、国や道への要請を続けながら、町にとって有利な方策を見出ししていきたい。併せて重要な雪冷熱の利用先については、今後雪山センターの完成により、さら

に大量で安い冷熱を供給すること可能にし、工夫をしながら色々な分野での利用を考えていきたい。企業誘致についても、近隣諸国の経済発展の影響から、誘致に取り組む側には厳しい状況にあるが、安い冷熱エネルギーの利用が可能だという沼田町の特性を強く訴えながら、雪山センターと一体的に進めていきたい。雪山センターの利用に関しては農業の分野でも検討を進めており、貯蔵するための倉庫としての利用を考えている。

（町民） 雪山の雪はこの雪を使うのか。

（町長） 排雪の雪を使う予定である。数年にわたって水質やごみの調査、周辺の環境への調査などを行ったが、影響は及ばさない結論を得ている。

（町民） 貯蔵施設は、いつ頃完成予定なのか。

（町長） 明確には言えないが、希望としては平成十九年度に雪山センターを造り、その後貯蔵庫を作りたい。

（町民） 個人で雪冷房等を行っている人がいるが、雪の確保に苦労している。そういった方々のための、何か考えはあるのか。

（町長） 雪山の雪を売り出す考えている。町内の雪冷房施設でも雪が足りなくなっているの、何らかの方法を考えていきたい。

沼田厚生病院の

改築について

本館が昭和三十九年建築、新館が昭和四十三年建築と築四〇年を経過しており、施設の老朽化に加え構造上の問題もあるため、医療環境が低下し利用者から敬遠される可能性がある。建物の整備ができれば医療の継続が困難な状況に陥ることから、厚生連における計画期間である平成十九年から平成二十三年に整備をする申し出があった。整備するにあたっての条件が出され、建設費の全額地元自治



体の負担、病院運営費の損失金三分の二の補てん、整備後の財政支援の継続、医師確保対策費の助成の継続がある。他の町で近年整備された厚生病院としては、平成十三年に苦前町が、沼田町の病床数七十四床に対し四〇床で約十三億円の建設費となっており、丸瀬布町では五〇床で約十五億円の経費となっている。病院の整備について検討しているところである。

（町民） 建替は仕方ないのかと思うが、五町の連携の中での協力はいただけないものか。

（町長） 実際に研究会が動き出した際には提案したいと思っているが、建築費のお願いをしても協力は得られないと思う。具体的な費用などが出てきたときに、詳しく決めていきたい。

（町民） 厚生病院について、町はどうするつもりなのか。わかる範囲で教えてほしい。また、補助のようなものはないのか。

（町長） 他の町では、全て自治体が負担している。全道の

厚生病院を合わせると黒字だが、町村の病院のほとんどが赤字である。そういう状況の中で、全額又は三分の二の赤字を持つ契約をしなければ、厚生連での運営をしてくれない。財源的にも補助金や過疎債などがあるので、町が直接病院を運営するより財政上は良い。ただ、突然の話だったために、何の準備もなく大変な状況である。旭寿園や和風園があるので、病院を無くすわけにはいかないの、何らかの方法を、具体的に説明する機会を設けたいと思う。

少子化の現状及び 幼保一元化について

北海道の出生数が、昭和五〇年ごろを境に減少しており、合計特殊出生率（一人の女性が一生に生む子供の人数）の平成十年から平成十四年の平均値が、全国の一・二九に対し一・二四と非常に低い状況である。本町においても合計特殊出生率は一・二五と低く、少子化は更に進行するものと考えられている。町

農地の再編整備 事業について

として次世代育成支援対策推進法に定められた行動計画を策定し、あらゆる角度から子育て支援を推進している。行動計画の策定時に実施したアンケート調査では、地域保育所の存続や、幼稚園における二年保育を希望する声等、保護者の様々な需要があり、町内の保育施設が現状のまま運営を継続するのは難しい状況にある。幼保一元化については予てからの懸案であったが、平成二〇年度以降の実現を目指し、沼田保育園との実現に向けた協議を進めている。

（町民） 沼田保育園の料金改善はないのか。高額で子供を預けられない。

（町長） 国や道から補助を受け、所得に応じた保育料をいただくことになっている。保育料を変更すれば、補助がなくなり町の負担になるため、勝手な変更はできない。国の設定する保育料の七割を負担していただき、三割は町が負担している状況なので、ご理解をいただきたい。

機械の効率化、労働力の軽減を目的に、圃場の大区画化を行う事業。空知管内でも既に実施、又は取り組み中の町がある。この事業は国の大半の負担の中で行われ、農業者の負担は三％から七％の負担という有利な中で事業を取り進めることが可能である。平成十五年から平成十七年に、整備の必要性についてアンケート調査を実施し、七割以上の農家の方が、現在の区画では不便なため大区画にしたいという意見があった。平成十八年から三カ年間で整備事業

予定地域の所有者、圃場規模、経営状況等を把握し、換地や区画整理などの事業計画を作成。事業費を積算、受益者負担額を算定し、農業者の方に事業実施の最終判断をする。実施することになれば、平成二十一年から平成二十八年の間に事業が行われ、平成二十九年から平成四十三年までが償還の期間となる。事業区域の設定については、最終的に

地域の方の意見を聞いて決めた。後ほど日程調整をし、詳細内容についてのご相談をしたい。

（町民） 整備区域にされていない地域があるが、この部分については整備されないのか。

（町長） 災害や河川改修などにより区画の整備された地域については、除外して地図を作成している。区域の正式な決定については、今後皆様の意向を聞きながら決定していく。

（町民） 範囲内の農家は、全員参加しなければならないのか。

（町長） 基本的には全員参加していただく。ただし、個人で大区画にしている場合には、ある程度除く考えでいる。

（町民） 恵北事業を行った地域は範囲に入らないのか。

（町長） 恵比島から北竜三までは恵北事業を行っており、札幌によると国営の重複は良くないそうである。恵北事業

については昭和五十七年に実施され時間が経過しているの、札幌に対し区域の拡大について要望し、経過については皆様にお知らせをして取り進めていきたい。

上下水料金改定の見通しについて

沼田町の水道料金に最も影響がある、北空知広域水道企業団の受水費改定が決まり、平成十八年四月一日より引き下げになる。現在構成団体間で企業団から購入する水の単価が異なっていたが、差を縮小することを前提に見直しとなった。受水費は基本料金と使用料金の二部制となっており、基本料金で負担しているが、基本料金で水量で賄う見直しをしたため、沼田町のように基本料金の量と実際に使う水の量に差のある町にとっては非常に有利な改定になった。また、企業団で将来の改築費用として留保している資金を、当面改築の予定がないことから今回の費用として取り崩すこととし、これまで5

年間で行ってきた料金算定を、今後十カ年において起債の償還が終了することや、大規模な設備の修繕、更新の予定がないことから、十カ年で平準化を図ることとしたために負担が軽減された。今までは、企業団から買う水の単価は一トンあたり一九三・四円だったが、一三七・七七円に引き下げられ、沼田町は年間約三〇〇万円が軽減される。水道事業会計としては、平成十八年度から平成二十二年までの五カ年間で約六三〇〇万円の負担が軽減されるので、当面は現行の水道料金で水道事業の財政運営が可能と思われる。しかし、今後の人口減少や交付税の削減等により、他町村の動向も踏まえた中で水道料金の検討をしていきたい。

下水道事業については、平成二年の供用開始以来十四年が経過している。浄化センターの設備の老朽化により、今後安全で安定的な維持管理をする上で、設備の改築を平成十八年から二カ年で約五億五〇〇〇万円を投入し実施することとしている。人口の減

少や交付税の削減による繰入金の減少も予想されるので、来年の四月一日に向けて十二％程度の引き上げ改定の方角で検討を進めたいと思っている。

（町民） 使用量の多い月と少ない月を混ぜて、基本料金のみにならないか。基本料金の設定がされている十トンまで、水を使わない家庭もあると思う。

（町長） 沼田町は十トンまでの基本料金制を採用しており、単身者の方などは、例え一トンしか使わなかったとしても、十トン分の基本料金を支払わなくてはならない。不満に思う方もいるかも知れないが、これは十トンまで当然使える料金であるのと同時に、いつ蛇口を開けても水が出る設備投資を含めた料金であるということでご理解をいただきたい。ただし、福祉政策の中で高齢者の方々に限っては、基本水量を六トンで設定している。

沼田高校の存続 問題について

今年度の沼田高校入学者数が十九名であり、二年連続で二十一名未満だと廃校の検討の対象となる。平成十八年度においては二十一名以上の入学者数を確保しなければ、存続が難しい状況にある。平成十七年四月から学区が変わり、高校の選択の幅が増え、深川市から旭川市や滝川市に生徒が流れたことと、少子化の影響が定員割れの原因となっている。沼田高校では、昨年より特進コースを設け、確かな学力と魅力ある学校作りに取り組んでいる。現在六十七名の生徒への少人数指導を徹底し、進学に配慮するような取り組みを行っている。入学者確保の観点から、札幌、旭川方面の入学者を確保するため、広報誌で下宿先の募集を行った。下宿先があればご連絡をいただきたい。

（町民） 沼田高校はどのようなPRしているのか。
（町長） パンフレットの作成

や、各学校及び教育委員会をまわっている。また、沼田中学校の先生との懇談や、中学校の進路相談の中で沼田高校の良さを話してもらうよう活動している。沼田高校の学校便りを区長発送で配布する他、地元中学生の保護者宛てに沼田高校の資料を送付するなど、PRを進めている。

高穂スキー場の 改修問題について

多くの町民の方からスキー場の更新等の要望がある。現在のリフトは昭和五十四年に設置され二十六年が経過しているため、耐用年数が過ぎているが、整備を行い使用は可能な状態である。今後更新するのであれば約八〇〇万円の費用が掛かり、ロッジ等の周辺整備を含めると、総額約二億四〇〇〇万円になる。照明やロッジの場所を変更することになれば、更に費用が掛かるため、利用者が減っていくスキー場の存続について、皆様の意見を聞きながら検討していきたい。



（町民） スキー場の改修に掛かる費用が莫大だが、どうしていくつもりなのか。

（町長） 利用状況が下がってきているのは明らかである。深川スキー場がもし閉鎖されれば、近隣で残るのは沼田町のみになる。そうすれば沼田町の利用率が上がるかもしれない。

その他の意見・質問

（町民） 町民懇談会を開催する場合、昼間の時間帯は出づらいので、時間帯を遅くした

ほうが良いと思う。また、場所についても細かい地区ではなく、ゆめつくる等で行ったほうが参加者も多く、色々な意見も聞けて良いのではないかと。

（町長） 今後町民懇談会等を開催する際には、場所や時期について検討し、無線等を通じて周知するようにしたい。

（町民） 「穂栄橋」の沼田町側に案内標識などがないので設置しては。

（町長） 町道の認定がされていないので、国道から橋までの区間についての町道認定の議決を今年度中にいただき、併せて案内標識等の設置についても検討していきたい。現在道路構造として必要な警戒標識については空知支庁で設置し、規制標識については公安委員会に要請しているので、近いうちに設置される予定である。

（町民） 鹿の被害があるので、数は少なくなっているようだが対策をお願いしたい。
（町長） 田植えが終わった頃に猟友会に巡回してもらった

が、鹿を発見することはできなかった。もう一度一斉に巡回してもらい、駆除するようにしたい。

（町民） 町の体育館やプールはお金を取っていないと思うが、今後取る予定はあるのか。また、温泉へ行くバスが有料となったが、利用者数に変化はあったのか。

（町長） 体育館やプールについての有料化は検討していきたいと思っているが、すぐに行う予定はない。ただし、町外の利用者からは有料化にしたいと思っている。温泉行きのバスについては、一昨年より有料化したことで、利用者の減少があったが、昨年よりお年寄り用のシルバーパスポートを発行し、利用者を増やそうと努めている。

（町民） あんどん祭りがマンネリ化しているように感じる。また、あんどんが始まるまでの昼間の時間にすることがないのでは。

（町長） 昼間の時間帯には牛肉祭りや、特産品フェアも開催しているが、これらを含め

て来年の三〇周年に向けて検討していきたい。

（町民） 恵比島小学校跡地にできる予定だった廃棄物処理施設はどうなったのか。経過説明の文書はいただいたが、その後の説明は一切なかった。職員の視察などに使った経費などはどのくらい掛かっているのか。

（町長） 平成十四年に川原商店さんが、恵比島小学校跡地で新しい事業を始める話があったが、当時の地区の代表者の方々への説明や、各戸に手紙を出すなど情報提供していた。昨年の二月にタウンミーティングを行った際、川原商店さんの事情や、廃棄物の流通が海外に流れている社会的な動きから、話はなくなったことを皆さんに説明している。出張の帰りに他の施設を見に行った経過はあるが、視察のために費用を掛けたことはない。費用は、用地の交換に掛かった十万円程度である。

（町民） 恵比島に鹿の処理施設を作る話があったが、議会

での意見もまとまらない中で、なぜ説明会を開催したのか。

（町長） まず地域の皆様方の理解を得てから、議会へ話をしている。住民の皆様の意見を聞かずに議会へ話すことはない。今回の件については、地域の方の理解を得られなかったので、見送ることにした旨、議会へ話をしている。

（町民） ほたる館の経費削減を進めている中、今年の春に車庫が屋根雪により壊れ、三〇〇万円ほどの修理費を掛けている。屋根雪を降ろさなかったために起きた人災なので、責任を取るべきだと思うが。

（町長） 管理が不十分だったことをお詫びし、内規に基づいた関係者の処分をしている。

（町民） 化石の体験学習に来ている人からは、お金を取っているのか。また、駐車場の整備などではないか。

（町長） 体験学習については、昨年から有料化している。駐車場の整備は難しいが、車を

止めることができる程度の道路拡幅が可能か、現地を見て検討する。

（町民） 議員定数について、人数を減らすのではなく、手当てを減らしては。

（町長） 近隣の町村の状況を見ながら、特別委員会で決定した内容である。

（町民） 東予コミュニティセンター前の道路補修について、バス停の中に水が入り込む状態にあるので、直してほしい。

（町長） 現地を確認するが、バスの停留所については基本的に維持管理費が掛かるため、廃止の方向で進めさせていた。

（町民） きつねの駆除をお願いしたい。

（町長） 家屋の縁の下に入り出てこなくなるので、なかなか駆除できない。地域でも、きつねの住みつかない環境にしたい。これから秋に向けて、鹿の駆除と併せて猟友会へ依頼をする。

（町民） バスの運行の関係で、休日は四時だいのバスがなく、子供が行き来するのに親が迎えに行かなくてはならない。また、最終便の時間についても、クラブ活動を行っていると乗れないことがあるので、見直しをしてほしい。

（町長） 今のバスの運行時間帯については、平日と休日で便数が異なる。これは、休日の利用人数が減少することから間引きさせていただいたもので、費用の掛かる問題のためご理解をお願いしたい。最終便についても、汽車との接続の関係があるため、保護者の方のご理解をお願いしたい。

（町民） 旭町西に教員住宅があるが、入っている先生が非協力的である。家の周りも草が伸びているので、何とか教育委員会から言ってほしい。

（町長） 町内会の方々が言った方が良いと思うが、教育委員会からも指導をいただく。

（町民） 越中獅子の関係で、町の文化財でもあるが、地区の人の会費を徴収して保存し

ていくのはどうか。

(町長) 行政改革の中で検討していききたい。他の町でも文化財の指定をしたものをどのように扱っているか、教育委員会でも検討する。

(町民) 北竜の墓地の名前については、どうなったか。

(町長) 各行政区長にお願いし、検討中である。まだ結論は出ていないが、もう少し待っていたきたい。

(町民) 陶芸館のところへ化石館を持つていき、視察の受入をしてはどうか。

(町長) 現在多くの体験学習の受入をおこなっており、現在の化石館では受入のスペースがないため、ほたる館の近くへ持つていく考えもある。陶芸館については、当初の目的が陶芸館ということで借金をしているの、条件をクリアできるか調べながら、将来的には陶芸館の有効利用するためにも検討していききたい。

(町民) 高規格道路ができた際には留萌本線がなくなるようなことを聞いたが、その際

には明日萌駅を幌新の嶋産業跡地に持つて行つてはどうか。

(町長) JRへ確認しても留萌本線がなくなる考えはないとのことである。ただし、明日萌駅のセツトについては、今後の方向について地区の方々と話し合いながら検討していききたい。

(町民) クラウスをほたる館の近くへ持つて行つてはどうか。

(町長) 現在のところへ持つてくる際に、北竜地区との色々な問題があったので、また移すことは難しいが、担当課で検討していききたい。

(町民) 雪捨て場の関係で、開発と土現が雨竜川に雪を投

げているのに対し、町が費用を負担しているが、使用料を取るなどできないのか。

(町長) 雨竜川の捨て場を使いながら、今後は雪山センターへの排雪をしていきたいと考えている。雪捨て場の管理については地元自治体が費用を全額出さなければならぬのは確かに不合理だが、ある

程度の負担はいただきたいと考えている。

(町民) 道営住宅前の道路は町道ではないが、町で除雪している。自分で除雪する人や、除雪費を払っている人がいる中で、道営住宅の入居者は無料で除雪されるのはなぜか。

(町長) 建設時の経過から、道と入居者との話し合いの中で、町で道をつけることとなった。住宅には一棟あたり四〇戸近くの方が入居している

ので、町道に準ずる道路として除雪している。過去の経過や実態を確認させていただき、明確なものにしたい。

(町民) 平成十六年三月末で、町内の難病患者の内、十数名が町からの支援をいただいていたが、本年に入り橋本病などの方が認定から外された。今後何らかの団体に入つた際には、ご支援をいただきたい。

(町長) 団体ができれば、町として支援していききたい。ただし、すぐに助成金ということとは難しいので、できる限り

のことをバックアップする。

(町民) NPO団体等について、どこまで検討しているのか。

(町長) 担当課で十分に実態を調べ、進めるようにしている。具体的な検討はしていないかもしれないが、進める意思はあるので、社協との連携会議等を進めながら検討していききたい。

(町民) 共成小・中学校の跡地に、緑の木を植えてほしい。

(町長) 校舎はまもなく解体される。その後については、行政区長や地区の議員からも話が出ていないので、考えはしていなかった。町でお手伝いできることがあれば協力するので、地区の方々と話し合いをしていただけるとありがたい。

(町民) 沼田高校の卒業生を、役場で働かせてほしい。

(町長) 沼田高校の卒業生を積極的に雇用しているが、介護職員の女性などは長続きがしない。明年に向けて、臨時

等で雇用できるよう努力していききたい。

(町民) ふるさとクーポン券は今後どうなるのか。

(町長) 町としては、平成十八年度で廃止することとしている。今後については検討させていただきたい。

(町民) あんどん祭りは金曜日と土曜日の開催となったが、金曜日の観光客が少なかった。以前の土曜日、日曜日の開催に戻した方が経済的にも良いと思う。

(町長) 日曜の夜遅くでは行きづらいという話があったことから、金曜日・土曜日の開催とした。今後も変える予定はないが、内容については、来年へ向けて検討していく。

今後も様々な問題が出てくるので、できるだけ今回のような機会をつくり、町民の皆様と意見交換をし、行政の推進を行っていきます。

参加出来なかった方で意見がございましたら役場総務課広報情報室までご連絡下さい。

沼田高校家庭クラブ 全道最優秀賞

来年全国大会出場へ 普通科程で初の快挙

沼田高校（津田雄二校長、六十六人）家庭クラブ（坂本麻美会長、五十六名）が、去る九月二十一日、二十二日の両日、岩見沢市で行われた全道高校家庭クラブ連盟研究大会で見事最優秀賞（学校家庭クラブ活動の部）に輝き来年七月に大阪で開催される全国大会に出場することがきまり、二十九日に坂本会長をはじめ同クラブ役員生徒五名、津田校長と顧問の古谷尚子先生が役場を訪れ、西田町長に受賞を報告されました。

同クラブは一年生全生徒と家庭科を選択している二・三年生で構成されており、今回の研究は校内の雪山で貯蔵された地元の米やソバ、じゃがいもを利用した「焼き蕎麦」や「米粉蒸しパン」を考案し、町民に試食をしてもらい、研究を行い改良を重ねた成果の発表が実を結び、毎年専門課



受賞の喜びを報告する沼田高校家庭クラブの生徒

程の学校が出場しているこの大会で、普通科としては初めての快挙となりました。

西田町長は「少ない人数の中で素晴らしい成果です、来年の全国大会でも頑張ってください。」とお祝いを述べました。

クラブ会長の坂本さんは「発表会でやるだけの事はしたので全国に行ければいいなと思っていましたが、本当になってうれしいです。来年は行けないので留年したいくらいです。」と喜びをかみしめていました。

また一年生の上野杏奈さんは「三年生が頑張ってきた事を無駄にしないよう全国大会でも頑張りたいです。来年に向け地元の方と協力しながらレシピを増やし、沼田町をPRしたい」と意気込みを話していました。

今回の受賞は沼田高校生徒が地域に密着した地道な活動が実を結んだ形となりました。これまでの活動の成果を全国大会でも頑張っていたきたいと思います。地域のみなさんも、ご協力をお願いいたします。

燃えるふるさと
夜高あんどん祭り 第29回

YOHTAKA
ANDON
FESTIVAL

北海道3大あんどん祭りの一つである第29回夜高あんどん祭りが8月26日（金）27日（土）の両日開催され初日はあいにくの雨に見舞われたものの、2日間で訪れた4万8千人の観光客を魅了させました。また、25日に夜高あんどん特別前夜祭としてビールパーティーが行われた他、祭り当日はふるさと特産品フェアや牛肉まつりも開催されました。来年は夜高あんどん祭りも30回目の節目を迎えます。

感動の夏、クライマックスへ
4万8千人を沸かせた
夜高あんどんまつり



大勢の方が訪れた牛肉まつり



本家清水からも参加





祭りを盛り上げたミスあんどんの3人



「飛竜鶴舞と天空御所」 役場あんどん連



旭川自衛隊北鎮太鼓



「宝船」 沼田保育園あんどん連



「竜宮城」 沼田幼稚園あんどん連



特別前夜祭から盛り上がりを見せた



「龍神夫婦鯉」 沼田自衛隊あんどん連



「名古屋城金の鯨」 沼田中学校あんどん連



「鳳凰六角堂」 沼田小学校あんどん連



「弁慶・義経」 沼田高校あんどん連



「光焰不動院纏御殿」 商工会あんどん連



「双竜般若獅子」 JA北いぶきあんどん連

「公共施設の福祉に役立てて」 日本緑化工機より車イス寄贈

建設工事先の自治体に、福祉機器の寄贈事業を行っている日本緑化工機株式会社（専務取締役：畑山貞夫）が8月2日、養護老人ホーム和風園を訪れ、「公共施設の福祉機器として役立ててほしい」と車イス1台を寄贈しました。

同社が福祉ボランティアの一環として、元請工事を受注した場合、施工場所の市町村に対して寄贈しているもので、昨年9月から札幌土現の発注で沼田奔川の河川改修工事を施工している。

中村園長は「地元に配慮いただきありがとうございます。有効に使わせていただきたい」とお礼を述べていました。



車椅子を寄贈する畑山専務

10 MONTH NUMATA TOWN NEWS

最近のまちのニュース

「いつまでもお元気で」 第32回沼田町敬老会

町と社会福祉協議会が主催した第32回敬老会が9月3日、町民会館で約310人が出席して開催されました。

主催者を代表して西田町長が「健康に留意され、いきがいを持って楽しい生活を送ってください」とあいさつしました。

祝宴では沼田保育園児による太鼓演奏やサークル団体による大正琴の演奏などが披露され、参加したお年寄りから笑みがこぼれていました。



大勢の方が参加して行われた敬老会

NHK杯明日萌の里P G大会 参加者よりお礼の手紙

今年で4回目となるNHK杯「明日萌の里」全道パークゴルフ大会が9月2日と3日の両日、雨竜川運動公園町民パークゴルフ場で開かれ、144人が参加して熱戦が繰り上げられました。

■男子の部（上位入賞者）

①武田隆＝77（深川市）②斉藤恒夫＝77（深川市）③向井孝司77＝（秩父別町）

■女子の部（上位入賞者）

①梅木佑子＝83（砂川市）②中原愛子＝83（滝川市）③外山臣子＝84（旭川市）

なお、今回参加された岩見沢市在住の関谷修二さんより「職員の仕事に対する熱意に胸の熱くなるものがある、久しぶりに胸が躍る思いでした」と身にあまるお手紙をいただきました。



熱戦が繰り上げられたP G大会

道警本部並びに同防犯連合会表彰 防犯功労者表彰に吉井さん

永年にわたり、地域の安全活動に貢献された方を表彰する平成17年度北海道防犯功労者表彰に、町内本通1丁目在住の吉井昭一さん（72歳）が選ばれ、北海道警察本部長及び北海道防犯団体連合会連名により表彰されました。

吉井さんは、昭和52年から町防犯協会沼田支部に入部後、地域防犯・少年非行防止活動などに積極的に熱意をもって尽力されているほか、地域ボランティア活動に従事し、地域のリーダーとして地域安全活動に多大な貢献をしたのが評価され、今回の表彰につながりました。

吉井さんは「町内が安全で安心して住みやすいまちになれば」と喜びを語っていました。



表彰状を手にする吉井昭一さん

10 MONTH NUMATA TOWN NEWS

最近のまちのニュース

夫婦仲良く50年 金婚を祝う会に9組

町が主催した金婚を祝う会が9月9日、ふれあいすこやかホールで開催され、結婚して50年を迎えた12組のうち出席した9組の夫婦を関係者でお祝いをしました。

主催者の西田町長は「半世紀にわたりご夫婦が町の発展にご尽力されてきたことに感謝します」とあいさつし、記念品を贈りました。

また、昭和56年より実施されていたこの行事も、行財政改革のため本年度で中止となりました。



金婚を祝う会に出席した
九組の方たち

ボランティア団体「ゆきんこレンジャー」 沼田町高校生ボランティア認定証交付式

町内在住の高校生、及び沼田高校在学の高校生で構成されるボランティア団体「ゆきんこレンジャー」の認定証交付式が、8月17日に町総合学習センターで行われました。

この団体は、将来の町づくりリーダーとしての資質向上を目指し、今後の町づくりへ生かしていくことを目的に設立されたもので、23名の生徒が登録されています。

交付式で沼田高校3年の渡辺侑斗君は、「ボランティア活動に積極的に取り組み、将来に役立てたい。よろしくお願いします」と、高校生代表の挨拶をしました。

今後は、この日配られた赤色のチームジャージを着ながら、町内の行事やボランティア活動に参加することになっています。



認定交付証を受ける高校生

日本パッケージ・システム社 進出後好調な受注で5名体制から8名体制に

本年2月に新工場（北海道工場）が竣工し、4月より本格的に操業を開始した「日本パッケージ・システム㈱」（真神孝男社長）が順調に生産を続けています。

同社の主要品目である盗難防止用ラベルやICタグ（13種類）を製造しており、竣工時は5名体制で製造していましたが、夏頃より国内外からの受注が増えはじめ、これらに対処することから来春以降で予定していた従業員の増員を前倒しし、8名体制としたところですが、それでも生産が追いつかず残業体制をとりながら製造を行っている状態です。

現在同社では、盗難防止用ラベルは国内向けに月



現在生産されているICタグ



200万ピースを生産しており北海道工場で最終的な製品として出荷を行っています。またICタグは海外向けに生産されており、各種対応のため、大きさは名刺サイズや小さいサイズまで様々な種類を月100万ピースを生産し、ICチップを乗せる手前までの作業を行い本社工場へ出荷しています。

高田雅博工場長は「生産体制を整えて行っているのが、今は従業員に負担をさせず生産が行えているが、受注が更に増えると生産が追いつかないので、そのときには地元雇用により新たに従業員を増やしていきたい」と期待を込めて話をしていました。

現在、ICタグは様々な分野での活用も検討されていることから、先駆者である同社での生産拡大が今後期待されるそうです。

まちのニュースは、沼田町公式ホームページで随時更新されていますので、いち早くご覧になることができます。

ホームページアドレス <http://www.town.numata.hokkaido.jp>

住宅用火災警報器の取付けが義務付けられました

消報

深山地区消防組合
沼田支署
— 第4号 —

広報一元化により、平成16年から「消報」は「広報ぬまた」で紹介しています。

なぜ、火災警報器が

必要なのか？

住宅火災による死者数が急増しており、特に死者の半数以上が高齢者となっています。また、死に至った原因の七割は逃げ遅れとなっております。このことにより、昨年消防法を改正し全国一律に住宅用火災警報器の設置が、新築住宅で平成十八年六月一日から、既存住宅で平成二十三年六月一日より施行されることになりました。

【問い合わせ先】
沼田支署予防係
電話 三五・二〇五〇



火災警報器はどこにつけるの？

火災警報器の取り付け場所は、寝室と寝室が二階の場合は階段にも設置が必要となります。（寝室が一階だけの場合は、階段や廊下への設置義務はありません）取り付け位置は原則として天井に設置（条件を満たせば壁でも可）、階段も同様に取り付けます。

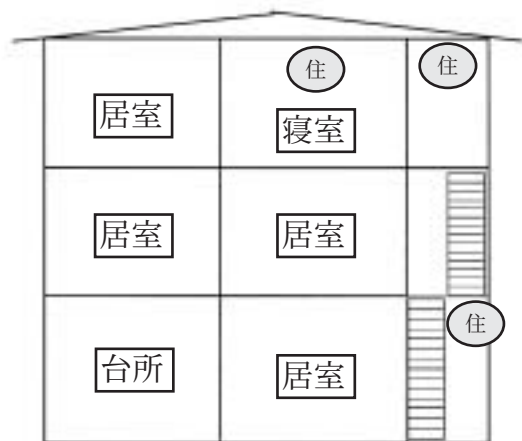


取り付けが義務付けられている所
（寝室・階段）

取り付けをおすすめする所
（台所・全ての居室）

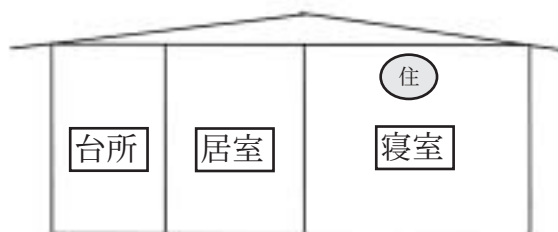
住宅用防火警報器設置例

3階建住宅設置例



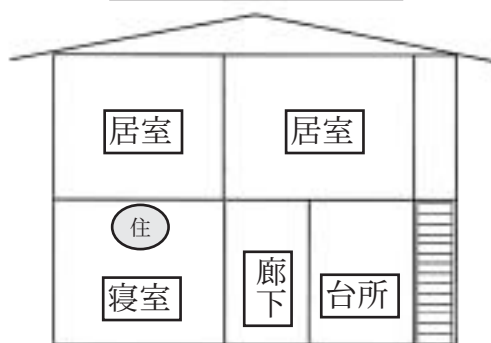
就寝の用に供する居室が3階の一室のみの場合

平屋建住宅設置例

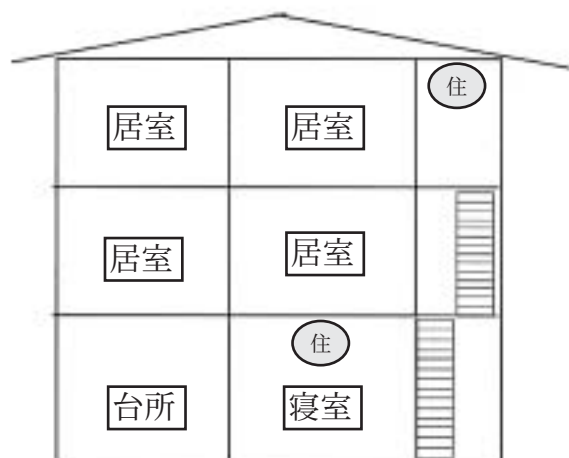


就寝の用に供する居室が一室のみの場合

2階建住宅設置例

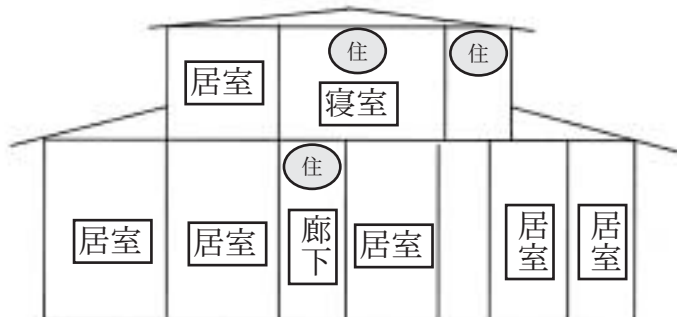


就寝の用に供する居室が1階に一室のみの場合



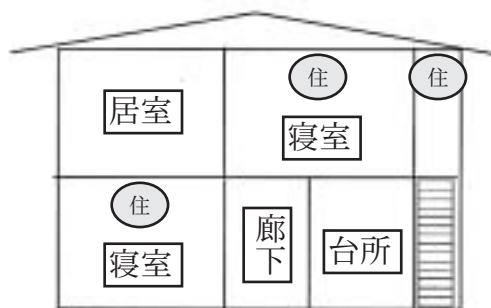
就寝の用に供する居室が1階の一室のみの場合

1の階に7㎡以上の居室が5以上存する住宅設置例



就寝の用に供する居室が2階に一室のみの場合

就寝の用に供する居室が2階に一室のみの場合



就寝の用に供する居室が1階、2階に各一室のみの場合

生涯学習だより

ゆめつくる

沼田町教育委員会生涯学習推進室

ご意見・ご相談はお気軽に

教育委員会

電話 35-2132

子育て **悩み** 相談
子ども 電話

専用 35-1912

10月の生涯学習情報

9月26日(月)～10月1日(土) 合宿通学②

- 10月 5日(水) いきいき大学⑤
- 10月 9日(土) 明日萌ウォーク
- 10月13日(木) ゆめつくるキッズクラブ⑥
- 10月26日(水) おはなしキラキラ⑥
- 10月27日(木) おはなしフワフワ⑥

※行事の詳細は、配布されているチラシや広報お知らせ版、または教育委員会にお問い合わせください。

子育て

親が聞き上手だと、 記憶力の優れた子に育つ

子どもが学校に入り、学力を身につける勉強を始めると、記憶力がものを言うようになります。その記憶力を養うのは、早期の英会話レッスンでも英才教育でもありません。「おはなし」を作る能力を磨くことです。「誰が、いつ、どこで、どうした」という起承転結のついた「おはなし」がきちんとと言える子どもは、記憶力も非常に育ちます。

では、「おはなし」を作る能力を育てるには何が大切か。それは日常の親子の会話です。子どもたちがおしゃべりできるようになったら、「今日は何をしたの?」「公園で、何して遊んだんだっけ?」という問い

かけをしてください。親子のコミュニケーションを図るだけでなく、その日あった出来事を思い出して「おはなし」を再構成する記憶トレーニングになるのです。親が一方的に子どもの気持ち先取りして「こういうことでしょ」と言ってしまうのは、よくありません。子どもが自分で「おはなし」を作る機会が持てなくなるからです。

親の語りかけは大切ですが、親はむしろ「聞き上手」であるべきです。子どもの「おはなし」をいかに引き出すかを考えながら語りかけ、子ども自身に自由に語らせることが大切です。

みんなで炊事・掃除・買い物 「親のありがたみ実感」 合宿通学（第1回目）終わる！

沼田小学校4～6年生の21人 5泊6日の物語

今年で4年目を迎える合宿通学（主催：同実行委員会）の第1回目が9月5日（月）から10日（土）まで行われ、沼田小学校4～6年生の児童21人が、町民体育館宿泊研修棟から学校へ通いながら共同生活し、お互いの立場や役割を理解し協力しあいながら楽しい生活を送りました。



掃除もきちんとできました



みんなで調理して楽しく食事



お買い物も全部自分たちで



勉強は教えあって



パーティの出し物で盛り上がり



6日間、よく頑張ったね！

第2回目は9月25日（月）～10月1日（土）に実施。

ゆめつくる 図書館だより

図書館からの お知らせ

新しく 入った本

一 般 書

悪意の手記・・・・・・・・・・中村 文則
アッコちゃんの時代・・・・・・・・・・林 真理子
一千一秒の日々・・・・・・・・・・島本 理生
おまけのこ・・・・・・・・・・畠中 恵
かたみ歌・・・・・・・・・・朱川 湊人
33歳ガン漂流ラスト・イグジット・・・・・・・・奥山 貴宏
1303号室・・・・・・・・・・大石 圭
その日のまえに・・・・・・・・・・重松 清
天使のナイフ・・・・・・・・・・薬丸 岳
東京DOLL・・・・・・・・・・石田 衣良
容疑者Xの献身・・・・・・・・・・東野 圭吾
夕凧の街 桜の国・・・・・・・・・・こうの 史代
さおだけ屋はなぜ潰れないのか？・・・・・・・・山田 真哉
シネマ坊主2・・・・・・・・・・松本 人志
裏ワザCookingカンタンレシピブック2・日本テレビ
母に習えばウマウマごはん・・・・・・・・・・小栗 左多里
はじめてつくるパワーアンプ(1万円の本格オーディオ) 酒井 智巳
おとうさんはウルトラマン おとうさんの育児書・宮西 達也
子どもが見えない・・・・・・・・・・NHK
こどもの歯をじょうぶにするQ&A64・・・・・・・・羽田 宣裕
世界のキッズ雑貨BOOK・・・・・・・・・・ベストセラーズ

児 童 書

かいけつゾロリの大どろぼう・・・・・・・・・・原 ゆたか
まじめにまじめかいけつゾロリのおやじギャグ大百科・原 ゆたか
ポケモンピカチュウ・ニャースの大ぼうけん・ふくやま けいこ
クレヨンしんちゃんの昆虫おもしろクイズブック・双葉社
トーマスポケットファンタジー大百科・・・・・・・・・・ポプラ社
最強の昆虫図鑑・・・・・・・・・・江良 達雄
ずら〜りウンチならべてみると・・・・・・・・・・西川 寛
ずら〜りカエルならべてみると・・・・・・・・・・高岡 昌江
100円ショップ大図鑑・・・・・・・・・・PHP研究所
キャラクターいっぱいのおもしろおりがみ・金杉 登喜子
デルトラ・クエスト4・・・・・・・・・・エミリー・ロッド
忍たま乱太郎 こまつださんおいだされる! ?の段・尼子 騷兵衛

幼児の絵本

おばけのたんじょうパーティ・・・・・・・・・・ジャック・デュケノワ
それゆけ! さななくん!・・・・・・・・・・ルーシー・カズンズ
まめうしのあついなつ・・・・・・・・・・あきやま ただし
やさしいライオン・・・・・・・・・・やなせ たかし
いすがにげた・・・・・・・・・・森山 京
かあさんのところ・・・・・・・・・・内田 隣太郎
こぶたのブルトン・・・・・・・・・・中川 ひろたか
テレビさんのおともだち・・・・・・・・・・五味 太郎
フォックスくんのあそびかた・・・・・・・・・・五味 太郎
アップルちゃんのとくいわざ・・・・・・・・・・五味 太郎

利 用 案 内

月曜日・・・・・・・・・・14:00~18:00
火~木曜日・・・・・・・・・・10:30~18:30
金曜日・・・・・・・・・・10:30~20:30
土・日・祝日・・・・・・・・・・9:30~17:00

1人10冊 2週間

◆北海道立図書館・沼田町図書館◆ 共 同 開 催

「みんなマンガに夢中だった！
なつかしのマンガと昔の子どもたち」

色々なマンガや雑誌を展示します！

展示期間

10月14日~11月3日まで
場 所 沼田町図書館

まんがコーナーには……。
男の子の愛読書 サンデー・マガジン
キング・チャンピオン・ジャンプ、
女の子の愛読書 りぼん・なかよし・
ちゃお・フレンドなどなど。
また、昔のこどもたちの学校生活・学
校給食・遊びなど、懐かしくなるよう
な本をたくさん展示します。

大人もこどもも楽しめる展示です♪

ぜひ来てください！！



金曜日は夜8時30分
まで会館しています。
是非、ご利用下さい♪

けいせつ 雪だより

column VOL.55

雪の学校連載コラム



石田組合長からの花卉栽培の状況説明



花卉栽培ハウスへ冷熱を供給する貯雪槽の見学



五ヶ山牧場の雪冷房施設の見学



雪の科学館（雪室）の見学

参加者からは、北海道は雪による弊害もあるが、春先の雪解け水で土壌が洗われ、土地が活力を取り戻し、連作障害が起こり難いなど良いこともあり、そういった視点からも考えることが大切だとの意見が寄せられました。

空知エコプロジェクト利雪施設見学会・学習会（空知支庁主催）が八月十九日に開催されました。

空知エコプロジェクトは、空知支庁と管内市町村が共同で空知の環境を守り、育むため、進めているものです。これまで、雪は環境にやさしいエネルギーということを知らうため、雪冷房機の見学

実演や、利雪商品の即売を催した利雪見本市が、七月十六日（土）に、ほたる館で開催されています（他には、栗山町や月形町でも開催しました）。

今回、沼田町で開催された、利雪施設見学会・学習会は、農業関係者を中心に、スノークールライースファクトリーや花卉の夜冷栽培施設など、利雪型農業施設の見学を行い、農業への雪利用の方法を学びました。

実際に雪利用施設を見ることで、見学者からは、貯雪方法や冷房の温度、維持管理の苦勞、導入コストなど具体的な質問や意見などが出され、高い関心が寄せられました。

施設見学後、「ゆめつくる」にて、室蘭工業大学の媚山助教から「雪氷冷熱エネルギーの農業分野への利活用」と題し、雪室の効果や、他地域での利雪型農業の最新事例などを学ぶ、学習会を開催しました。



媚山助教によるレクチャー



ゆめつくるで行った学習会

空知エコプロジェクト
見学会開催

こちら
沼田警察署
35-3110

**街頭犯罪及び侵入
犯罪にご注意！**

道内の犯罪は、平成十三年から三年連続して九万件台を突破したため、北海道警察では、平成から「街頭犯罪等抑止総合対策」に取り組み、諸活動を強力に推進した結果、昨年は四年ぶりに八万件台に減少でき、その傾向は本年も続いています。

しかしながら、「侵入強盗」「部品ねらい」等の犯罪が増加傾向にあるなど、予断を許さない状況が続いています。そこで北海道警察では「安心して暮らせる安全な北海道」を目指し「ひったくり」

「車上ねらい」「空き巣」などの皆様の身近で発生する犯罪を減らすため、本年も継続して「街頭犯罪等抑止総合対策」に取り組んでいます。

「安全で安心なまちづくり」は「自らの安全は、まず自らの手で守る」事を実践し、それぞれの家庭や地域・職場や各種自主防犯ボランティア団体などの皆様が警察と協働して防犯対策に努めることで実現しましょう。



暴力団犯罪や暴力団を追放しましょう。

見た聞いた 受けた暴力

恐れず通報

市民の敵、社会の敵である暴力団を私たちの街から追放しましょう。

暴力団は、生活の場に巧みに入り込み企業活動や経済取

引に絡んで不当な要求を行ったり、暴力を背景とした犯罪を日常的に行っています。また、けん銃などを使用した凶悪な犯罪や市民を巻き込んだ対立抗争事件などを引き起こす犯罪集団です。

「暴力を恐れない」、「暴力団を利用しない」、「暴力団にお金を出さない」を合言葉に町ぐるみで暴力追放の輪を大きく広げましょう。また、暴力団の犯罪や不当な要求行為などは、どんな小さな些細なことでも、見たり聞いたりしたら積極的に警察に相談、連絡する勇氣を持ちましょう。



全国地域安全運動を実施します。

みんなで つくろう

安心の街

防犯協会と警察は、自治体

や地域のみなさんと連携して、犯罪や事故などによる被害を未然に防止し、安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、「全国地域安全運動」を行います。

運動の期間

十七年十月十一日～

十月二十日までの十日間

運動のスローガン

「みんなでつくろう

安心の街」



運動期間中、空き巣などの侵入犯罪やひったくりなど街頭犯罪を未然に防止するための防犯診断や防犯教室、子どもを犯罪から守るための対策など様々な活動が行われますので、多くのみなさんが参加されるよう呼びかけています。

**被害相談窓口を利用
下さい。**

○被害者等のための各種相談窓口をご存知ですか？

警察では事件や事故の被害に遭った方や家庭内暴力、ストーカー、お子さんのいじめ問題などで悩んでいる方などの相談を受け付けています。

また、事件や事故による心の傷が癒されず悩んでいる方のために、民間被害者相談窓口のカウンセラーがあなたの話をお聞きます。

事件や事故でお悩みのあなた、勇氣を出してダイヤルを

各種相談窓口

【被害者相談】		
○函館・旭川・釧路・北見方面 性犯罪・少年相談110番	0120-677-110	
○旭川中央警察署被害者専用電話	0166-22-7000	
【一般電話】		
○旭川	0166-34-9110	
【民間被害者相談電話】		
○北海道被害者相談室	011-232-8740	
○(財)北海道暴力追放センター	0120-210-490	
○北海道交通安全活動推進センター	011-233-2543	

見逃さないで !!

あなたの健診結果

既に今年度住民健診を受けた方、これから受ける方、病院や職場で受けている方など自分に適した機会に健康状態を確認していることでしょう。しかし、その健診結果が教えてくれる健康づくりのポイントを見落とし、生活習慣病に向かっていく方が数多くいます。

☆7月の住民健診の結果からわかること

《循環器検診受診状況》

ふれあい健診：268人

女性健診：58人



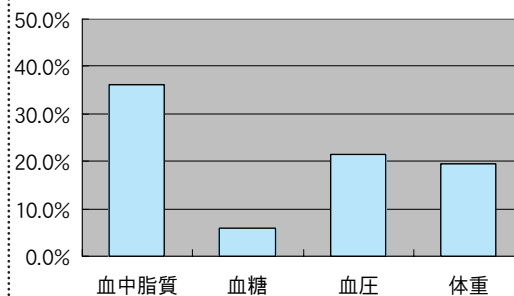
65歳以下で、
血圧・血中脂質・血糖
などの項目で「経過観
察」の者が対象

《健診結果相談会》

77人対象のうち

⇒55人受組

健診結果項目別有所見率

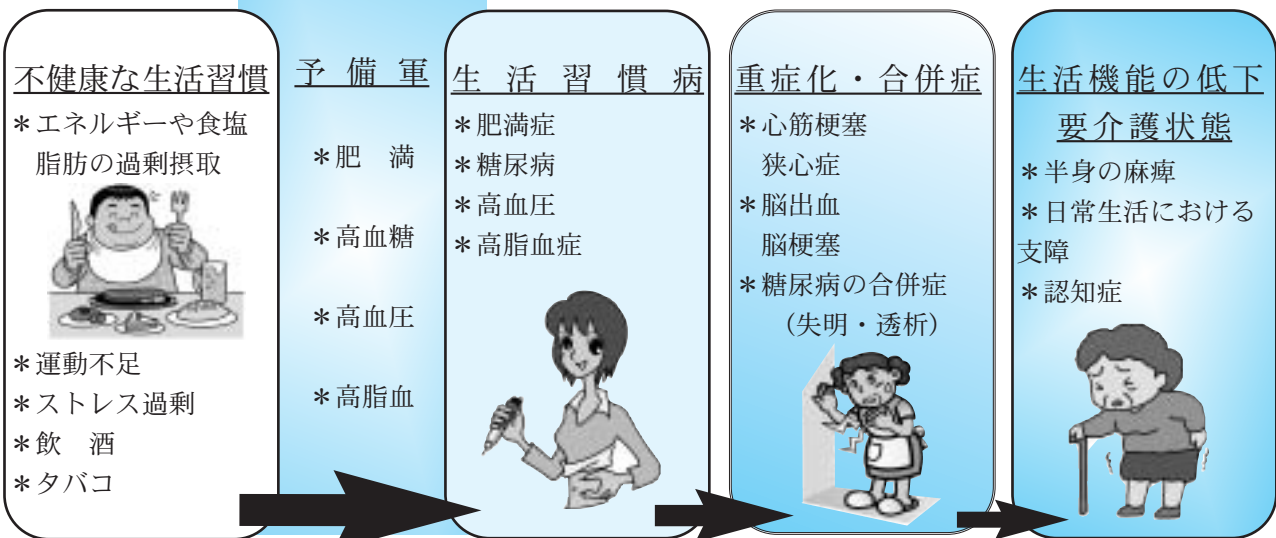


近年、沼田町でも
これらの予備軍の方が
増えています
※「治療継続」の方を
除いた有所見者状況

☆『メタボリックシンドローム』をご存知ですか？

「肥満」(内臓脂肪の蓄積)を含め「糖尿病」か「高血圧」、「高脂血症」を3つ以上あわせもっていることをメタボリックシンドロームといわれ、下記につながっていく恐ろしい前兆です。

境界領域期



※生活習慣の改善で疾病の進行を防いだり、改善することが可能です

☆生活習慣改善の2つの柱

～運動習慣の徹底～

週2・3日程度、汗ばむ時間が普通の生活にあるようにしましょう！！
消費エネルギーを増やし、心身の機能の活性化を図りましょう。

～食生活の改善～

健診結果相談会にて、活動量以上にエネルギーとなる食事を摂取している方が多い傾向にあります。メタボリックシンドロームの要因でもある「肥満」に十分注意し、活動量に見合った食事が大切です。

健診結果等について保健師・栄養士にお気軽にご相談下さい

住民生活課保健指導班 TEL35-2120

お彼岸から振返る主食の役割 ～おはぎ・ぼたもちを通して考える～

短い夏も過ぎ去り、沼田も秋を迎えました。去る23日は秋分の日でしたが、皆さんおはぎは食べましたか？そもそもどうして秋分の日を含むお彼岸にはおはぎなのでしょう。今回はこの疑問に迫りながら、おはぎにも欠かせない米を通して主食の役割について考えてみたいと思います。

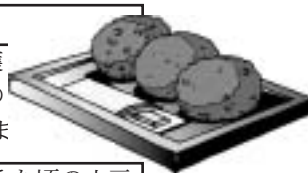
お彼岸について



お彼岸とは春分・秋分の日と、その前後3日をあわせた7日間のことです。昔からおはぎを食べる習慣があります。この習慣は江戸時代に定着したと言われており、小豆の赤色には災難が身に降りかからないようにするおまじないの効果があると信じられていて古くから邪気を払う食べ物としての信仰が先祖の供養と結びついたと考えられていたようです。このおはぎ、同じような食べ物にぼたもちがありますが、この2つに違いはあるのでしょうか？

おはぎとぼたもちはどう違う？

	食べる季節	大きさや形	あんこ
おはぎ	あんに使う小豆の粒を萩という秋に咲く花に見立てた物で秋のお彼岸に食べます	萩の花を形どって小ぶりで長めに!!	つぶあん→秋の彼岸が小豆の収穫時期と同じで、とれたての、皮のやわらかい小豆をそのまま使います
ぼたもち	あんに使う小豆の粒を牡丹という春に咲く花に見立てた物で春のお彼岸に食べます。	牡丹の花を形どって丸く大きく豪華に!!	こしあん→冬をこして春をむかえた頃の小豆を使うのですが、皮も固くなっているため、皮を取り除いて作ったこしあんを使います



基本的には同じ材料を使って作るのですが表のような違いで名前を分けているのです。

毎日の食事の中における主食の役割

主食…炭水化物という栄養素を主に含むご飯、麺類、パン類などの食べ物で、1日を通しての活動のエネルギー源となり私達の活発な日常活動に欠かす事ができない働きを担います。



ご飯は小麦粉が主原料であるパン等の粉食に比べ、しっかり噛む事が必要な粒食のため、消化吸収が穏やかで腹持ちも良い食材です!!

今回は秋のお彼岸を通して主食に注目してみました。ご飯を中心とする主食はその役割からも欠かす事の出来ない食べ物です。最近では食生活スタイルの変化などから、1人当たりの年間米消費量も約60kgとここ40年間で半減する現状にあります。是非、ご飯食を中心として主食を位置づけ日々の食生活を組み立てましょう。



お子さん、お母さんと一緒に実施しています

「すくすく教室」の紹介



2ヶ月から1歳までのお子さん、そしてお母さんと一緒に、離乳食や歯の手入れ、親子遊びなど毎回テーマを決めて教室を実施しています。

このすくすく教室では、お子さんの月齢の近い方同士でグループになってもらい、育児に関する話がされています。

離乳食については、試食会も一緒に行っており、お母さん達に月齢に合った硬さや食材などを確認してもらっています。



沼田町の明るい未来のために 「ふるさとづくり事業」にたくさんの 方々から応援をいただいております。

本町の「ほたる」・「夜高あんどん祭り」等に象徴される豊かな自然や観光資源などを将来に亘って維持・発展させていくことを目的に本年度から実施している「沼田町ふるさとづくり事業」に対し、これまで道内外より多くの方々のご賛同を賜り、多額のご寄付金をいただいております。

皆様のご芳志に対しまして心から厚くお礼申し上げます。

今後におきましても沼田町の明るい未来のために、引き続き事業に共感していただける皆様のご支援をお待ちしておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

現在の寄付状況（8/31現在） ■寄付金総額 2,155,000円

・ほたるの里の維持保存及び整備事業	230,000円	・夜高あんどん祭り維持・保存事業	1,185,000円
・化石河床群の保存研究事業	170,000円	・明日萌ロケ施設の維持・保存事業	165,000円
・雪の利用等に関する事業	200,000円	・指定なし	205,000円

寄付者一覧（8/31現在）

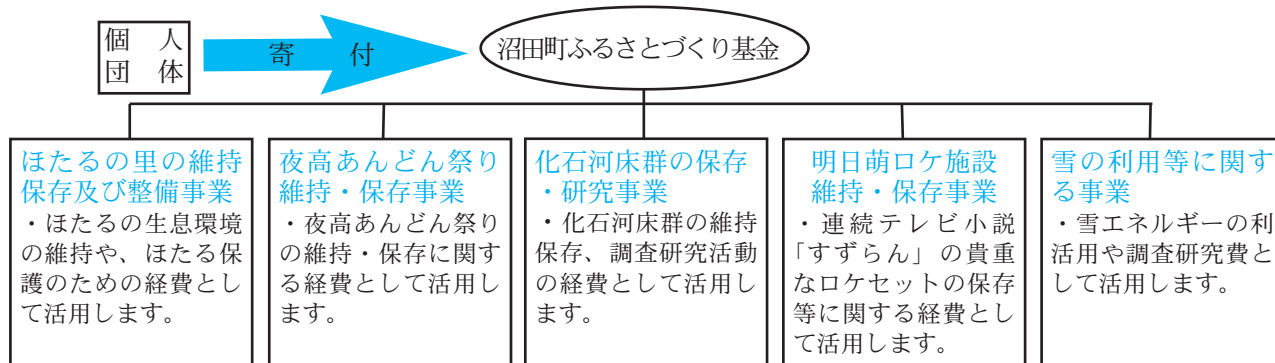
※順不同、敬称略

住 所	氏 名	住 所	氏 名
沼田町	松村 敏	東京都	春田道久・知子
"	安念 フジ	"	大窪 功
"	広野 トヨ	"	杉林 芳夫
"	中村建設株	"	宮脇 悠
"	西森 尚子	埼玉県	榊村 尅義
"	吉岡 宥二	"	岡嶋 良夫
"	役場管理職会	"	菅原 公一
札幌市	藤沢 敏夫	"	林 晃二
"	土田 金治	"	久保 政彦
"	真崎 シズエ	"	佐竹 孝
"	駒木根 恵美子	神奈川県	下保元二・洋子
"	中岡 綾子	"	窪倉 須美子
"	根尾 タミ子	"	小山内 敬司
"	高橋 停	千葉県	林 輝彦
"	石川 雪廣	"	梅田 進
"	吉田 栄子	新潟県	中塚 圭一
"	清水 秀幸	香川県	牟礼町
"	吉岡 貢		石の民俗資料館
"	広田 実		
秩父別町	北垣 威史		
深川市	寺井 順子		



◆寄付の流れ◆

※皆様からいただいた寄付金は「沼田町ふるさとづくり基金」に積立てし、下記の5つの事業に使用させていただきます。寄付される際に、寄付金の使い途を指定して下さい。



引き続き、皆様からの応援をお待ちしております。 問い合わせ：地域開発課 35-2112

税

10月は税・公共料金の特別 納付推進強化月間です

税は暮らしを支えています

町では、10月を「特別納付推進強化月間」と定め、各種町税・上下水道使用料・公営住宅使用料と併せて国民健康保険税・介護保険料の徴収を強化し、滞納による負担の不公平感を是正するとともに、滞納整理に努めることとしました。

また、皆さんから納めていただいた町税を生かして町民皆さんの声を反映させ、子供たちの教育や公共施設の整備、道路や橋の建設、医療の充実や地域産業の振興など、さまざまな町民サービスを実施して、町民の皆さんが安心して暮らせる住み良いまちづくりを進めているとともに、納税された方々との公平を保つため、滞納されている町税等の徴収に日々努めています。

公共料金等は一度滞ると納めにくくなるものです。納付については口座振替制度等を利用し、沼田町のまちづくりを推進するために、納期内納付に町民皆さんのご理解とご協力をお願い致します。

納税に困ったら相談を・・・

滞納を生み出す原因は、納期限をついっかり忘れていて額が大きくなってしまい、納めることが苦しくなってそのまま放置しておいた等が見受けられます。

特別な事情などにより一度に納付することが困難な方については、分割で納付することも出来ますので、まず相談してみることが大切です。

【沼田町の対策】

町では、未納対策については早期に対応することを基本に徴収努力を重ねています。また、滞納状況が、長引く景気低迷により多様化・複雑化してきており、今後累積滞納額が年々増加することが予想されます。

こうした状況を打開するために「徴収連絡会議」を設置して、滞納による負担の不公平感を是正するとともに、滞納整理に努めることとしました。

【滞納者対策】

納期限までに納めていただいた方と、不公平にならないために、滞納者個々の滞納原因を把握し、特に納税意識の低い滞納者を対象に、夜間の臨戸訪問徴収等を実施することとします。

この結果資力がありながら納税指導に一向に応じようとしない方、納付誓約に応じない方、誓約しても理由もなく履行しない方など、納税に誠意がない悪質な滞納者については、町民に不公平感を持たれないよう、納付の公平な確保に厳しい姿勢で臨み滞納を解消していきます。

【悪質滞納者への対応】

悪質と判断された滞納者に対しては、現在、水道使用料では再三の催告に応じない滞納者に給水停止の措置を行っていますが、町税等についても今後滞納原因を分析し、財産・納付能力などを調査して、滞納処分ができるものについての財産の差押えや、滞納処分ができないものの法的手続の活用について検討し、町税・使用料等の公平な負担と住民サービス推進のために厳正な処分を実施します。

【便利で確実な口座振替】

この「口座振替」は、金融機関があなたに代わって、あなたが指定した預金口座から自動的に振替えて納付する制度です。納期限をつい忘れたり、納付するためにわざわざ金融機関等に出向くこともなく、忙しい方や留守がちな方にとっては特に便利な納税方法です。

★口座振替のできるのは

町道民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・介護保険料
公営住宅使用料・国民年金保険料・上下水道使用料・下水道受益者分担金

★取扱金融機関は

北空知信用金庫・北いぶき農業協同組合・郵便局(すべて町内に限ります)

★手続の仕方は

金融機関及び役場に備え付けの口座振替依頼書に必要事項を記入し、預貯金口座に使用している印鑑を押して提出するだけで手続は完了です。

【夜間納税相談窓口及び公共料金納付相談窓口の開設のお知らせ】

日頃納税等で疑問を持っている方、悩んでいる方などお気軽にお越し下さい。

1 期 日 平成17年10月11日(火)～14日(金)

2 時 間 午後5時30分～午後7時30分

3 場 所 沼田町役場庁舎2階会議室 ※相談は手続きも必要なく、秘密も守られます。

不明な点があればお気軽にご連絡下さい。

23	財 政 課	税 務 担 当	電話	3 5 - 2 1 1 3	(内線 2 3 3)
	財 政 課	管 財 担 当	電話	3 5 - 2 1 1 3	(内線 2 3 2)
	建 設 課	上下水道担当	電話	3 5 - 2 1 1 6	(内線 2 5 2)
	住民生活課	総合窓口担当	電話	3 5 - 2 1 2 0	(内線 3 0 2)



NOWな やんぐ power

【沼田町のいいところは？】

年に一度のあんどん祭りに、町全体が取り組んでいるところがすごいと思います。

あんどん祭りが好きなのですが、高校三年間は出ることが出来なくて残念な思いをしました。今年は農協のあんどん連に参加できて、とても楽しかったです。

今回は、金子太郎さん（旭町東・二十四歳）からの紹介で、橋本恵美さん（南町・十九歳）です。

橋本さんは、沼田町出身で、深川東商業高等学校を卒業後、今年の四月から現在の北いづき農協沼田支所融資課に勤務しています。

橋本さんは、沼田町出身で、深川東商業高等学校を卒業後、今年の四月から現在の北いづき農協沼田支所融資課に勤務しています。

橋本さんは、沼田町出身で、深川東商業高等学校を卒業後、今年の四月から現在の北いづき農協沼田支所融資課に勤務しています。

【趣味は何ですか？】

小学四年生から始めた金管楽器の演奏が好きで、高校まで吹奏楽部に入っていました。今でも休みの日には、近所の迷惑にならないよう注意しながら練習しています。

滝川市や深川市には吹奏楽団があるので、いつかは入団できるようになりたいです。



次回は、上机梓之富さん（沼田四・十九歳）です。どうぞお楽しみに。

【今後の抱負】
また一年目で、色々な人に助けてもらっているので、早く覚えて、しっかりとした仕事を出れるようになりたいです。

沼田町赤十字奉仕団再結成

活動を休止していた沼田町赤十字奉仕団が九月十六日再結成されました。沼田町赤十字奉仕団は昭和五十八年に当時の婦人団体連絡協議会（婦連協）がその活動を担当していました。平成十六年三月に女性団体連絡協議会（女性協）が解散し、そのことに伴って奉仕団の活動も休止していました。奉仕団は地域のボランティア団体による声かけや町の広報誌を通じて広く町民から募集して、四十三人の団員によって再結成されました。

設立総会には、西田町長をはじめ、日本赤十字社北海道支部熊谷事業推進課長、募集により参加された奉仕団員が出席されました。総会では、準備委員会代表の高松慶子さんが議事進行を勤め、事務局からの経過説明の後、規約の承認、役員を選任並びに事業計画予算が承認されました。

また、日本赤十字社より奉仕団旗の交付式も併せて行われました。

赤十字奉仕団は災害時の炊き出しや各種の奉仕活動を行うために結成されたもので、今後奉仕団は

赤十字奉仕団の信条を基本とし、可能な範囲において社会への奉仕活動を行い、地域住民の幸せを願う活動を展開していくこととします。なお、新たな役員構成は次のとおりです。

- | | |
|-------|-------|
| ◇委員長 | 高松慶子 |
| ◇副委員長 | 吉田寿子 |
| ◇委員 | 藤村富子 |
| ◇監 | 見郷田静子 |
| ◇監 | 渡久慈洋子 |
| ◇監 | 橋山富美子 |
| ◇監 | 土間孝子 |
| ◇監 | 藤員代 |



奉仕団旗を受取る高松委員長

おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
大西 寛一さん	8月14日	74歳	旭町東
吉田 英子さん	8月16日	82歳	南町
篠原ハナヨさん	8月31日	84歳	旭町東
中澤 キクさん	9月19日	95歳	旭町東

人の動き

人口 4,108人（前月比 △10人）
（男 1,939人・女 2,169人）
世帯 1,716戸（前月比 △2戸）
（平成17年10月1日現在）

交通事故死ゼロ

2286日

（平成17年10月1日現在）